



美化活動を実施します

本年度最初の美化活動を実施します。5月20日金曜日を計画日としていますが天候などにより変更される場合もあります。時間は夕方4時20分頃から計画していますが、これも当日の状況により、臨機応変に対応したいと考えています。活動内容は、昨年と同じですが、道路沿いのごみ回収を中心に行ないます。この地域は比較的きれいで、道路沿いにごみの散乱は少ないと考えていましたが、思いのほか回収されたものが多く驚きました。特に、あつてはならない、乾電池やスプレー缶はそのまま放置されていると、環境に悪影響があり、回収出来て良かったと考えます。職場毎に、回収地域を割り振ります。また、昨年より地域を広くしましたが、事前に確認しましたので、時間を有効に活用し、地域美化にご協力をお願いします。



千波湖が重要湿地に選定されました

4月、環境省より「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」、いわゆる重要湿地の発表があり、当社が支援している水戸市環境保全会議が選定を求めていた、千波湖及びその周辺の湿地群が選ばれ、環境省のホームページに掲載されました。地元民の感覚では千波湖と言えば「アオコが出る汚い湖沼」というイメージがありますが、見方を変えれば地域にとって重要な生物多様性の要となる場所であることを、認識していただく必要があります。観光のために整備するのではなく、水戸が豊かな環境を維持し続けるために保全ではなく、保護をしなければならぬと考えます。

生物多様性の観点から重要度の高い湿地



今月の生物多様活動 ～水戸に由来する薬草について研修しました～

4月9日 内原公民館で薬草に関する研修会を実施しました。薬草は、古くから人々の暮らしに無くてはならないもので、多くの文献が残されています。逆に考えると薬草として重用されていた植物は、日本の在来種であるといえます。今回は、徳川光圀公ゆかりの薬草を中心に、その時代にかかれた「救民妙薬」にある植物、中国から伝来したと思われる漢方薬など、積極的に栽培された植物などを学ぶことにより、江戸時代の生息状態などを推理してみました。薬以外にも一年で大きく成長し、杖などの日用品に使用されたアカザなど、知ることができました。お茶などに今でも愛用されている植物を研修しました。



最高責任者(社長)のコメント ～熊本の地震報道に接して～



熊本をおそった地震災害の情報が、連日報道されている。東日本大震災を経験した我々でもその苦痛は、想像して余りある。このような事態に遭遇するたび、防災に関する知識や装備の重要性など声高に叫ばれるが、むしろ冷静になり、自分たちのできることを見極め、地道な活動が重要である。

今月の環境用語



「環境保護と保全の違い」

環境では、環境保全と環境保護という言葉を使い分けています。環境保全は、積極的な人的活動により現状を維持しようとする行動を言います。それに対し、環境保護は、人的な行動を最小限にとどめ、自然が持つ自助作用に期待することを言います。その状況判断により使い分けています。

今月の環境目標進捗状況

	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量の削減	16,344kwh	12,896kwh	達成	—	—	—	↑
一般ごみの削減	66袋	64袋	達成	—	—	—	↑
エコキャップを回収	817個	836個	達成	—	—	—	↑
美化活動の実行	—	—	—	—	—	—	—
生物多様性保護支援	1回	1回	達成	—	—	—	↑